

天小だより

命輝き 笑顔あふれる 天神川小学校

令和7年6月18日

伊丹市立天神川小学校

校長 徳田 達郎 【修学旅行特集HP】



6年生修学旅行でヒロシマへ

折り鶴実行委員の子どもたちが作成したプレートに書かれた言葉

「自由」

戦いや争いにまきこまれたり、未来をじゃまされたりしない。
自分や家族、友だち、世界中の人たちの命を大切にする。
みんなで平和な未来を生きていきたい。
そんな思いを、「自由」という文字にこめました。
みなさん、折り鶴づくりのご協力ありがとうございました。
天神川小学校の代表として、このパネルを広島に届けてきます。
そして学んだことを、帰ってきてからみなさんに伝えたいと考えています。
では、行ってきます！



言葉の壁を越えたセレモニー

ヒロシマ平和記念公園の「原爆の子の像」の前でセレモニーを行いました。
折り鶴実行委員の子どもたちが、「自分たちが考える平和とは何か」を語りました。

私たちは原爆の苦しみや辛さを味わったことはありません。
でも、平和学習を通して、原爆の怖さや人々の苦しみを知りました。
私たちが思う【平和】とは、人と人が支え合って、助け合い、
そして笑って安心した生活が送れることだと思います。
世界を変える平和への一歩を今、私たちが踏み出します。
支えてくれる人への感謝の気持ちを忘れず、この命を大切に生きたいと思います。



黙祷を捧げる子どもたちの真剣な様子が伝わったのか、そばにいた外国人観光客の方も一緒に黙祷を捧げていました。

修学旅行から帰ってきた6年生の子どもたちは、今度は自分たちの学級で、この天神川小学校で、「安心した生活が送れる平和」の【作り手】になっていくのではないかと、そう願っています。